

世界の宗教と暮らし

世界の姿 日本の姿 気候と暮らし アジア州 ヨーロッパ州 アフリカ州 北アメリカ州 南アメリカ州 オセアニア州

今日の問い

世界の宗教は、人々の暮らしとどのように結びついているのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 三大宗教と民族宗教

宗教の分布

さんだいしゅうきょう
三大宗教

仏教・キリスト教・イスラム教。民族や国をこえて信仰される。

みんぞくしゅうきょう
民族宗教

特定の民族や地域と強く結びついた宗教。

仏教・キリスト教・イスラム教は、民族や国をこえて世界の広い地域で信仰されており、**三大宗教**とよばれる。一方、特定の民族や地域と強く結びついた宗教を**民族宗教**という。三大宗教のうち、仏教はインドで、キリスト教は西アジアのパレスチナ地方で、イスラム教はアラビア半島でおこった。

キリスト教は、ヨーロッパや南北アメリカ、オセアニアに信者が多い。イスラム教は、西アジアや北アフリカ、中央アジアを中心に、東南アジアの一部にも広がっている。仏教は東アジアや東南アジアで、民族宗教の**ヒンドゥー教**はインドで、多くの人々に信仰されている。



主な宗教の分布

分布は大まかなもの。一つの国の中にも、さまざまな宗教を信仰する人々が暮らしている。

2 宗教と暮らし

暮らし

ラマダン

イスラム教の断食月。日の出から日の入りまで飲食をしない。

イスラム教の信者は、1日**5回**、聖地メッカの方角に向かって祈る。**豚肉**を食べず、**ラマダン**(断食月)には、日の出から日の入りまで飲食をしない。きまりにそってつくられた食品には**ハラルの**認証マークが付けられ、日本でも見かけるようになった。

ハラル

イスラム教のきまりで、口にしていと認められたもの。

キリスト教では、日曜日に教会で礼拝を行い、イエスの誕生を祝う**クリスマス**などの行事がある。仏教がさかんなタイなどでは、僧が家々を回って食べ物を受ける**托鉢**が見られる。ヒンドゥー教では**牛**を神聖なものとして食べず、**ガンジス川**で沐浴をする人々がいる。このように宗教は、食事や服装、行事など、毎日の暮らしと深く結びついている。外国の人と接するときは、こうしたちがいを理解し、尊重することが大切である。

問いへの答え

世界では、民族や国をこえて信仰される仏教・キリスト教・イスラム教の三大宗教や、インドのヒンドゥー教などの民族宗教が信仰されている。宗教は、イスラム教の1日5回の礼拝や豚肉を食べないきまり、キリスト教のクリスマス、ヒンドゥー教で牛を神聖なものとするなど、毎日の生活や食事、行事と深く結びついている。

次は **ノート** で、下線に語句を書きながら確かめよう →

